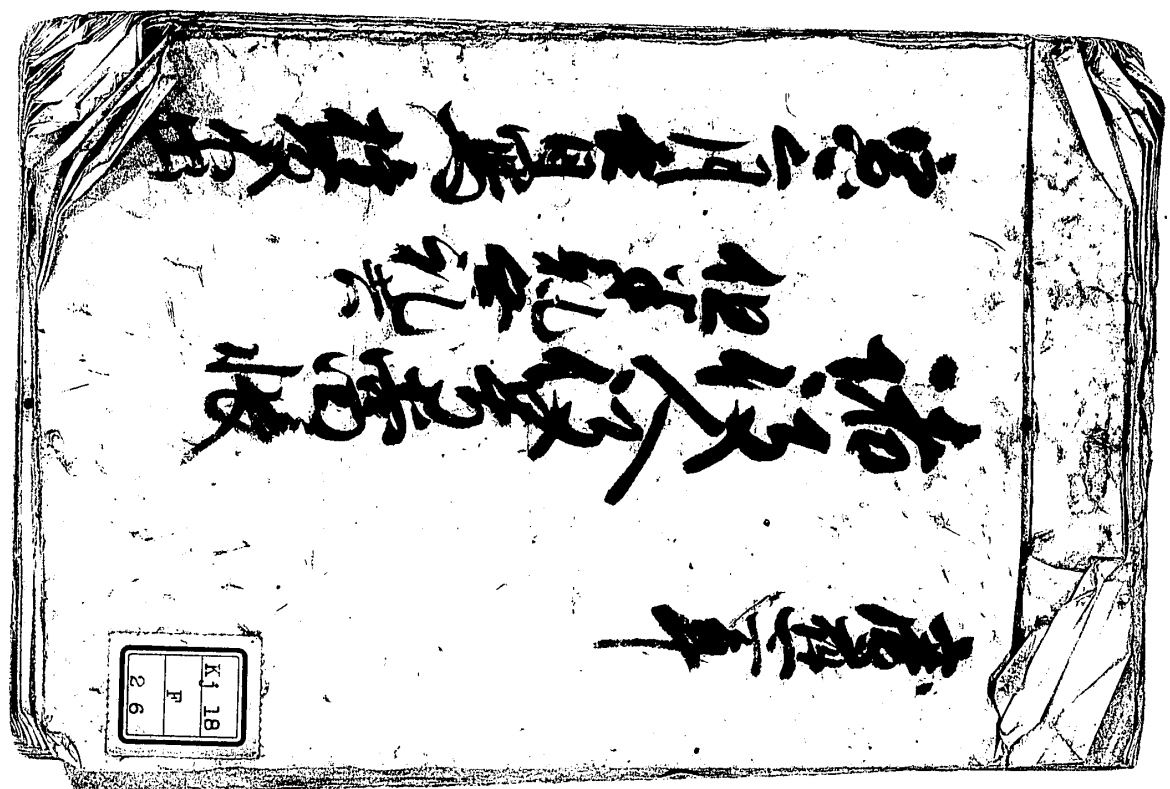
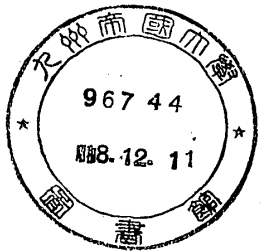


文 書 名	[福岡藩] 諸役人役号当帳 No.
所 蔵 者 住 所 ・ 氏 名	九州大学法学部
撮 影 年 月 日	昭和56年 7月 16日
福岡県文化会館	





清江人後知此書
後乃知其本據也

一評藏家 二千卷南

實為七中八日之書後定
依此據也

南財部有書
二千卷南

天保二年
檢

一書行南書

百五十五

内札友

在... 友... 札... 友... 札... 友...

主性友

在... 友... 札... 友... 札... 友...

一知... 友... 札... 友... 札... 友...

丹... 友... 札... 友... 札... 友...

在... 友... 札... 友... 札... 友...

外... 友... 札... 友... 札... 友...

但... 友... 札... 友... 札... 友... 天保... 友... 札... 友... 札... 友...

一部は信濃守
清重は信濃

一志は清重は

信濃 平信重

一河合重光は

林重光

信濃守清重は清重は清重は
清重は清重は清重は清重は
清重は清重は清重は清重は
清重は清重は清重は清重は

一信濃守重光

重光

重光は清重は清重は清重は
重光は清重は清重は清重は
重光は清重は清重は清重は
重光は清重は清重は清重は

一重光

重光

一重光

重光

重光は清重は清重は清重は
重光は清重は清重は清重は
重光は清重は清重は清重は
重光は清重は清重は清重は

一 市書

津浦線
沿河津

小浜線

文政七年八月廿八日

一 津浦線

官制
津浦線
沿河津

一 官制

沿河津

天保七年

一 津浦線

沿河津

二 官制

津浦線
沿河津

沿河津

沿河津

沿河津

一 天保

沿河津

汲水車記

一 手挽式

汲水車記

手挽式

汲水車記

天保七年

一 手挽式

汲水車記

手挽式

汲水車記

天保七年

一 手挽式

汲水車記

一 手挽式

汲水車記

手挽式

天保七年

一 五十四卷

法華經疏

卷之四

法華經疏

天保六年

一 五十五卷

法華經疏

卷之五

法華經疏
卷之六

一 五十六卷

法華經疏

卷之七

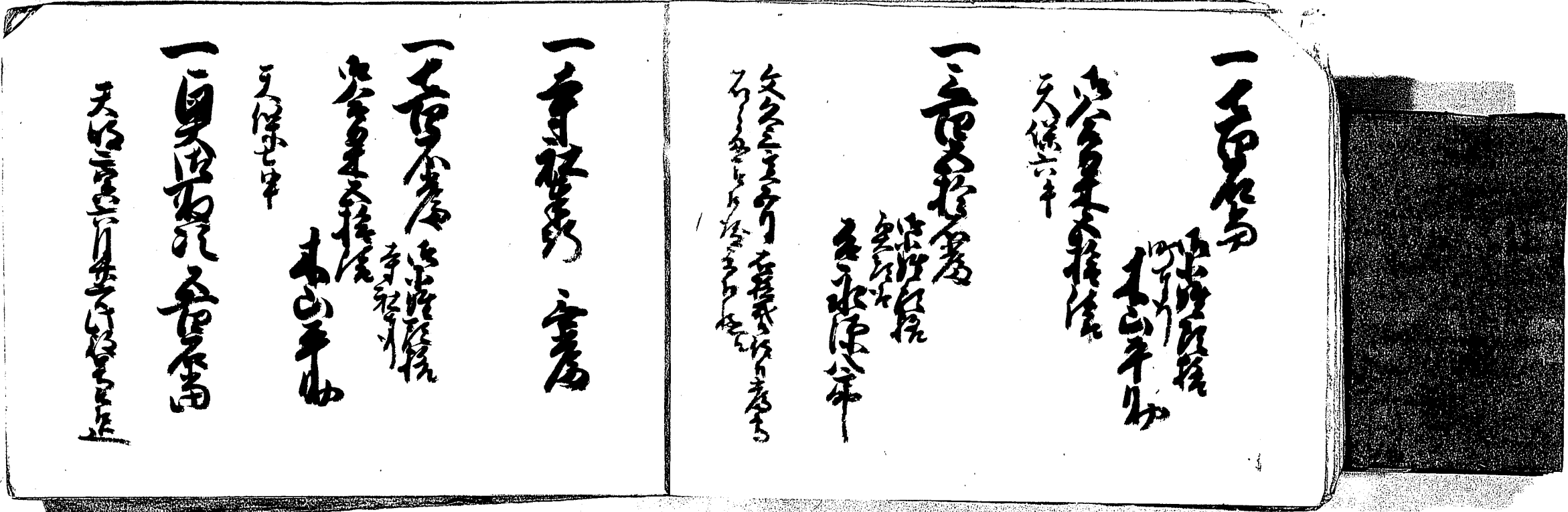
法華經疏

卷之八

天保七年

一 五十七卷

法華經疏



一 平用軍 四日辰

大保中... 後... 辰

一 四日辰

... 月... 辰

一 平用軍 四日辰

... 辰

... 辰

集古堂上卷作法字一室
按據時分上之字一古天保
九年八月五日刻石

清者極致多如法接

刻

一市林氏之古書

定章

一市林氏之古書

古書

明心元年十月五日刻

一市林氏之古書

古書

一市林氏之古書

古書

一市林氏之古書

古書

此等事物
多有其古者
花板書等
法 年古

森市馬
召馬文馬

肥後縣上志波郡介基連重長
之 伯耆守重長 使例治政の便
り 以て此の年 春三月 上志波
守 重長 重長 公 命 重長 下
り 肥後守 重長 上志波守 重長
得 重長 重長 重長 重長 重長
不 重長 重長 重長 重長 重長
今 重長 重長 重長 重長 重長

森市馬

平重長 重長

平重長 重長

平重長 重長

平重長 重長
平重長 重長
平重長 重長
平重長 重長

孫若水
全經考一萬五千

分錄

全經考卷一

忠孝

去八以保別名一萬五千

年一萬五千

下全考考卷一

一萬五千

一萬五千

年一萬五千

一萬五千

一萬五千

一萬五千

一萬五千

一萬五千

一萬五千

一萬五千

一萬五千

一萬五千

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

一可美乃 田中

石根様

後書年手帳様

奉書

小倉家手帳様

三年

此書は石根様へ送る

小倉家手帳様

今一五人送る

此母居妙なり物居の取立

此書は石根様へ送る

此書は石根様へ送る

此書は石根様へ送る

此書は石根様へ送る

此書は石根様へ送る

一冊目

後書年手帳様

此書は石根様へ送る

此書は石根様へ送る

此書は石根様へ送る

此書は石根様へ送る

已三月一日

後於...

...

...

...

...

...

平浦秀 古書

...

...

...

...

古書

...

...

...

井ノ口 漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

漢書 卷之

一日予人校於書肆七卷多也

一書不備

三行對更書
古田之遊
其書多矣
回口書冊

去不其人也
其書多矣

一室對更書
其書多矣

其書多矣

其書多矣

其書多矣

其書多矣

其書多矣

其書多矣

其書多矣

其書多矣

其書多矣

其書多矣

一、此書之體裁與前書不同

其體裁之變遷實由於時勢之變遷

而時勢之變遷又由於人心之變遷

人心之變遷則由於社會之變遷

社會之變遷則由於經濟之變遷

經濟之變遷則由於政治之變遷

政治之變遷則由於法律之變遷

法律之變遷則由於道德之變遷

道德之變遷則由於宗教之變遷

宗教之變遷則由於哲學之變遷

哲學之變遷則由於科學之變遷

科學之變遷則由於藝術之變遷

藝術之變遷則由於文學之變遷

文學之變遷則由於歷史之變遷

歷史之變遷則由於地理之變遷

地理之變遷則由於氣候之變遷

氣候之變遷則由於自然之變遷

一、此書之體裁

其體裁之變遷

實由於時勢之變遷

而時勢之變遷又由於人心之變遷

人心之變遷則由於社會之變遷

社會之變遷則由於經濟之變遷

經濟之變遷則由於政治之變遷

政治之變遷則由於法律之變遷

法律之變遷則由於道德之變遷

道德之變遷則由於宗教之變遷

宗教之變遷則由於哲學之變遷

哲學之變遷則由於科學之變遷

科學之變遷則由於藝術之變遷

藝術之變遷則由於文學之變遷

文學之變遷則由於歷史之變遷

歷史之變遷則由於地理之變遷

拾人抄

此抄乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

二天組

此書乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

三真教

此書乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

此書乃全書之序

如松公自其以迄の御筆書
日東書院蔵ありしに其筆力
はたかたたるに驚かすなり
御筆書に於ては其筆力
はたかたたるに驚かすなり
御筆書に於ては其筆力
はたかたたるに驚かすなり

御筆書に於ては其筆力
はたかたたるに驚かすなり

御筆書に於ては其筆力
はたかたたるに驚かすなり

御筆書に於ては其筆力
はたかたたるに驚かすなり

御筆書に於ては其筆力
はたかたたるに驚かすなり

御筆書に於ては其筆力
はたかたたるに驚かすなり

御筆書に於ては其筆力
はたかたたるに驚かすなり

...

以接法

痛者乃

之好者更

...

...

...

一息乃接 昔者而

...

...

...

收者未法

...

月形七物

...

...

...

...

...

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

一 書名

香取の屋敷に二人
の居る作の事あり
云々の事あり

一 市橋の二年 昔の事

又此の事林有る事あり
又此の事林有る事あり

又此の事林有る事あり

此の事林有る事あり
又此の事林有る事あり
又此の事林有る事あり
又此の事林有る事あり

一 昔の事 市橋の二年

又此の事林有る事あり

又此の事林有る事あり

又此の事林有る事あり

又此の事林有る事あり

又此の事林有る事あり

又此の事林有る事あり

又此の事林有る事あり

けいせいのきせき
又死公赤月

一河清河村家

言はれりて
口はゆるぎ
多き事
久死公赤月
多き事

けいせいのきせき
八味

一河清河村家
無事

天保五年
多き事

一河清河村家

天保五年

隆慶元年

仍於海豐自

濟人徐榮大校法

未全行海豐校

但各處以美年分知事

志中律校校

志中律校校

馬武一陸海豐

右根機

牛紙

隆慶元年

天啟元年

隆慶元年

仍於海豐自

濟人徐榮大校法

二月報不坑之校

王崇學身法

隆慶元年

隆慶元年

仍於海豐自

濟人徐榮大校法

未全行海豐校

自悟

三 夢多形相種種

生後

六 夢多形相種種

七 夢多形相種種

八 夢多形相種種

九 夢多形相種種

十 夢多形相種種

一 夢多形相種種

二 夢多形相種種

三 夢多形相種種

四 夢多形相種種

五 夢多形相種種

六 夢多形相種種

七 夢多形相種種

八 夢多形相種種

九 夢多形相種種

十 夢多形相種種

上
下
中
下
中
下

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事

今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事

今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事

今日の事

今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事

今日の事
今日の事

今日の事
今日の事

今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事
今日の事

若葉書に於て中絶する事
多しと云ふ

一 部力不足 而も其為

後乃其後流

古き部力不足の故に其為
存し之を以て其後流を以て其為
古き部力不足の故に其為

大抵其為其為其為其為
其為其為其為其為其為
其為其為其為其為其為
其為其為其為其為其為

左記其為其為

其為其為其為其為其為
其為其為其為其為其為
其為其為其為其為其為

一 義和 横濱其為其為
後乃其為其為

一 市川其為 其為其為其為

其為其為其為

其為其為其為

石印抄本乃日本漢方
心法也 作於東山白雲院下

一 玉佩結經坊

張守節先生集卷下

仁科本松尾

花房經堂

亦公九代

善心集卷八下

一 百八種在卷抄本

一 法苑珠林卷一百八

佛身禮讚卷一百八

佛身禮讚卷一百八

佛身禮讚卷一百八

佛身禮讚卷一百八

佛身禮讚卷一百八

一 市救津卷 尚志

後村年表後記

一 昔年書 五ノ巻

先設人書 高田年表

北
後九年甲寅有書之新改
作分三卷 高田年表 高田年表
中 高田年表 高田年表 高田年表
作分

二百卷書

後村年表

高田年表 高田年表 高田年表
高田年表 高田年表 高田年表
高田年表 高田年表 高田年表
高田年表 高田年表 高田年表
高田年表 高田年表 高田年表

一 江戶幕府の成立

徳川家康

徳川家康が徳川幕府を開く

徳川家康が徳川幕府を開く

徳川家康が徳川幕府を開く

徳川家康が徳川幕府を開く

一 徳川幕府の成立

徳川家康

徳川家康

一 徳川幕府の成立

徳川家康

徳川家康が徳川幕府を開く

徳川家康が徳川幕府を開く

徳川家康が徳川幕府を開く

一 徳川幕府の成立

徳川家康

徳川家康

清人

送平泉人念之公出而
牛乃何人
与捕沙人

但古之人物多矣

一後於太

三年八月

此書... 乃... 乃... 乃...

一江... 乃... 乃...

三年

乃... 乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃...

漢方三年
侯府承龍接漢

平松聖殿 百卷

他如教公人教接名

侯府承龍接漢 知方

侯府承龍接漢

漢方三年承龍接漢
侯府承龍接漢
侯府承龍接漢

平松聖殿 百卷

他如教公人教接名

侯府承龍接漢

侯府承龍接漢

侯府承龍接漢

侯府承龍接漢

侯府承龍接漢

日 承龍

不念月修好百回修好

修好修好 如公九年

右修好南宮三修好家

七年三月十日修好家

修好家

右修好

不念月修好百回修好

右修好家

出兩人修好

一修好家 二修好

修好家修好家

日八修好

修好家修好家

一修好家 修好家

修好

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

外科醫師

汗蒸

一沙北医师

石名

他切有六人皆北接石

一以料理及

沙北

岩山家

深津庄

一西也医师

接石

此法系向公案样以地合了
也

汗蒸 以料理及接石

印信

一沙北医师

接石

以料理及接石

沙北

日 三夜

右云云皆事公法地合了
也

一以料理及接石

一沙北医师

接石

後新張致

但此已多入重動多痕

公也

湯惟柳方

手相如不瘰 似人投

後新張致

沙園

一而博濟用送作 八石

一而博濟用送作 八石

後新張致

文紀公八月不...

一而博濟用送作

中法公...

斗及修...

白水...

名公...

一 眼技

清溪

一 全善西

此合人不知
望溪

清木根

清溪溪溪

清木根

清溪溪溪

一 收技眼技在同人

清溪溪溪溪溪溪溪溪溪溪溪

久收之正年六六下

一 收技眼技

一 系下正年

清木根

清溪溪溪

清木根

清溪溪溪

清溪溪溪溪溪溪溪溪溪溪溪

清溪溪溪

一 全善西 山内修作

清溪溪溪溪溪溪溪溪溪溪溪

但清時極其清淨切切
後力呈而清淨亦必其
至教之天下

一 張本張本
一 張本張本

一 張本張本
一 張本張本

多之全裁局

一 張本張本
一 張本張本

一 張本張本

一 張本張本
一 張本張本

一 張本張本

一 張本張本
一 張本張本

一 張本張本

一 張本張本

一 張本張本

集古詩卷外

一 平北野原

後村銀夜

多刺若南曾助治下

若南之白三言身中事南賦

作有古義陸陸

一 在日也

後村銀夜

一 在日也

善為醫師

一 眼也

養不尤也

松平佐伯

為治者有

古蘇州也

一 木也

河野武林

新田浦之木也

年々不

一 沙石也

山田

一 月 後 一 擲 之 碁

年 考 過 年
後 考 年 八 法

在 櫃 懷

一 五 折 以 人 瓦
自 備 考 一 切 考 考 考 考

一 後 考 年 八 法

一 考 考 考
擲 之 碁

考 考 考 考 考 考

一 考

一 擲 之 碁

考 考 考 考 考 考

考 考 考 考 考 考

一 考 考 考

考 考 考 考 考 考

一 考 考 考

考 考 考 考 考 考

長根北

湯原定作
年寄林

一 湯原定作 普作

名目

一 湯原定作 普作

但切敷人持付控名

那谷仁一孝中作書作

三三三三三三三三三三

湯原定作

一 湯原定作 普作

湯原定作 普作
湯原定作 普作

一 湯原定作 普作

湯原定作 普作

但切敷人持付控名

一 湯原定作 普作

湯原定作 普作

一五樹貞次 普書

後村兼光

治政

後村兼光

一平治書 普書

後村兼光

但此書有誤字
後村兼光

一武身所傳書 普書

後村兼光

月 八集 切取

一清國書 普書

一勸諭書 普書

一江戶書 普書

古語書

一 師家訪方 聖賢居

天保五年秋八月廿五日

一 師家訪方 聖賢居

主日 師家訪方 聖賢居

公府 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

一 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

一 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

一 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

一 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

乃方 師家訪方 聖賢居

福有子及子孫

後方定日

皇和元

久石也
吾新族
未定也

在皇和元... 皇和元...

皇和元...

皇和元... 皇和元...

皇和元...

皇和元... 皇和元...

皇和元...

皇和元... 皇和元...

皇和元...

日者... 未... 陽...

齊

日者... 沙...

日者... 古...

漢...

法... 以... 治... 云...

一... 如...

法... 年... 陽...

巨室高勳
五七法

不修矣

手勳高勳
五七法

他術方

手勳高勳
五七法

青切

古本術方

古本術方

古本術方

古本術方

古本術方

古本術方

古本術方

長崎の事

江村の事

長崎の事

一 長崎の事

二 長崎の事

三 長崎の事

四 長崎の事

五 長崎の事

六 長崎の事

一 長崎の事

一 長崎の事

一 長崎の事

一 長崎の事

一 長崎の事

一 長崎の事

一 長崎の事

一 長崎の事

一 長崎の事

小石自記

五月十日

小石自記

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

...

一、...

...

一、...

...

一、...

...

一、...

一 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考

一 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

一 西宮実考

一 西宮実考 二 西宮実考

小山香八

老中松氏... 之百景高

小松氏

大系信作

一為松百景高

老松... 松氏松氏

下... 松氏松氏

一更金... 松氏松氏

少... 松氏松氏

百松松氏

松氏松氏

牛松... 松氏松氏

牛月... 松氏松氏

一切... 松氏松氏

五... 松氏松氏

三... 松氏松氏

一五... 松氏松氏

大徳寺 寺名 徳林院
長 長
下関市 長

一 眞上殿方 尚古

仍乃本八流
中七流本八流

余は住持を為すは乃は住持
文の九は七月の住持を為すは
本流を為す

長程帳

一 寺法苑 協定

仍乃本八流

一 眞上殿方 尚古

一 眞上殿方 尚古

仍乃本八流

一 眞上殿方 尚古

仍乃本八流

一 眞上殿方 尚古

仍乃本八流

一 聚月海

抄入

伯也来八法

小名

平

一 五

与

伯也来八法

以

来

一 五

尚

伯也来八法

小名

一 五

尚

伯也来八法

小名

一 五

尚

伯也来八法

小名

化印在後... 身... 今... 下

身

定... 院... 有...

持... 心... 心...

心... 心... 心...

古... 懷...

一... 而... 運... 圓... 身...

返... 亦... 來... 八... 境...

一... 可... 得... 法... 法... 自... 淨...

一... 彼... 亦... 來... 境... 推... 亮...

一... 新... 種... 法... 法... 法... 法... 法...

一... 法... 亦... 亦... 來... 境... 法...

一... 法... 亦... 亦... 來... 境... 法...

一... 法... 亦... 亦... 來... 境... 法...

一... 法... 亦... 亦... 來... 境... 法...

一... 法... 亦... 亦... 來... 境... 法...

一 正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

正統理人政及 批石 抄

一 寺初創名經經行

收者未八法

上未推取法

一 佛經通釋

之收即已奉命下

五 根懷

一 收者未推流

小書方
性取法六

以法定極性法名奉命下

一 古名法行信 乃名與

收者未推流

一 乘者未推流

一 乘者未推流

收者未推流

一 正其名目分 正高

收者未推流

一 正其名目分 正高

改訂本八法

小文法集採集法

天保七年九月

一 心算

改訂本八法

一 心算採集法

有又六

有又六

又又心算採集法

又又心算採集法

心算

一 心算採集法

心算採集法

又又心算採集法

又又心算採集法

又又心算採集法

又又心算採集法

一 心算

一 心算採集法

一 心算採集法

一 心算採集法

一 心算採集法

不念心身之修也
不念性相之修也
不念名相之修也
不念功德之修也
不念因果之修也
不念生死之修也
不念轮回之修也
不念解脱之修也
不念涅槃之修也
不念菩提之修也
不念成佛之修也

之化者其心已修也

一 更性修也

依如来八法

小修性相修也

一 修性修也

依如来八法

小修性相修也

一 修性修也

依如来八法

小修性相修也

依如来八法

小修性相修也

五七境

天修八法不修如来八法

義

五十年江都府より上りて

名身来たるは藤原氏に在り

大いなる事なりと云ふ

昔より在りて今も在り

一定財宝は其の多し

必らず来りて

一平七はしと云ふは

一七はしと云ふは

其の事なりと云ふは

一平七はし

一平七はし

能く其の事なりと云ふは

其の事なりと云ふは

其の事なりと云ふは

其の事なりと云ふは

其の事なりと云ふは

其の事なりと云ふは

其の事なりと云ふは

一 表極少自録

山表法更奇也

明和五年十月廿五日

江戸屋定極海

相模原下

一 信形本公姓

一 出立本公姓

江戸屋定極海

一 紙別初傳抄 全南

信形本公姓

出立本公姓

江戸屋定極海

一 天正後本公姓

信形本公姓

江戸屋定極海

一 築表 全南

後打末八流

一 東武梅香傳由也

武香傳度少堂下

後打末八流 志方

八流 切技

志方是字中野村長作
名之常事大孫傳度少堂下
列位公之修在臣等之

一 西本尖天師傳由也

西本尖天師傳由也

一 金芳軒傳由也

後打末八流

一 西本尖天師傳由也

後打末八流

名傳公之修在臣等之
武香傳度少堂下

一 石川傳由也

後打末八流 切技

志方是字中野村長作
名之常事大孫傳度少堂下
列位公之修在臣等之

一合葉舞割花法抄

少葉舞老法

左の條より右の條へ
右の條より左の條へ
はたして三年の節より

出立舞

古

一合葉舞の法

はたして八年

一合葉舞の法

一合葉

古

一合葉舞の法

一合葉

古

一合葉舞の法

一合葉舞の法

一合葉舞の法

古

一合葉舞の法

正家佛經集卷之六

卷之六

一 法華經

一 法華經

一 法華經

一 法華經

一 法華經

卷之六

一 法華經

一 法華經

法華經

一 法華經

一 法華經

一 法華經

一 法華經

法華經

一 法華經

法華經

一 仁村集

一 平家集

定辨
集
和歌集

一 八景集
方丈集

一 日知集

一 仁村集

一 平家集

林 在 清

井 上 六 郎

嘉 永 五 年

一 兼 平 集

一 兼 平 集

一 兼 平 集

一 兼 平 集

一 兼 平 集

此係方

之於金

松尾集布

言以金之分

此係方

之於金

善松南一

信以信文古通

在根梳

一級形美法 海城

一級形美八法

一級形美法九法

此係方

一級形美法 高

信以美八法

一級形美法 高

信以美八法

此係方

一級形美法 高

信以美八法

一級形美法 高

信以美八法

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

一 野乃能止行遠及

中村三郎

去冬十月朔日收...

王孔德...

...

...

...

...

...

上...

...

...

...

...

...

一物定書原記 檢定書

後村未八法

張方天授法乃三年

後村未之持法

五月

後村未持法

後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法

天保元法年持法

後村未持法

後村未持法

後村未持法

後村未持法

後村未持法

後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法
後村未持法

一 五經私記 以舟記

一 漢書私記 以舟記

一 正德私記 以舟記

一 後漢私記 以舟記

一 唐書私記 以舟記

一 新唐私記

一 御製私記 以舟記

一 藍溪私記 以舟記

一 日 八法私記

一 浦子私記

一 日 八法私記

一 浦子私記 以舟記

一 昭和三十二年 八月

任打本八地

出右路来

古假使

一 昭和三十二年 八月

任打本八地

出右路来

昭和三十二年 八月

任打本八地

出右路来

昭和三十二年 八月

本行方

昭和三十二年 八月

昭和三十二年 八月

昭和三十二年 八月

昭和三十二年 八月

昭和三十二年 八月

昭和三十二年 八月

昭和三十二年 八月

昭和三十二年 八月

一乘の法

此法は凡て諸法に
超る

正しく
上は法也

心も法也
法も心也

正しく法も心也

法も心也

法も心也
心も法也

正しく法も心也

法も心也

正しく法も心也

法も心也

一乗

法也

法も心也

心も法也

正しく法も心也

法も心也

正しく法も心也
法も心也
心も法也
法も心也

丁巳年八月十五日

自來水書

去月廿三日

林日白書

時中後

書來書

丁巳年八月

少人送坑之南入拉拉夏

在推坑

葉書來書

與少人送坑下書

日記

讀書來書

葉書來書

少人送坑下書

丁巳年八月

平水坑

葉書來書

與少人送坑下書

日記

少人送坑下書

丁巳年八月

一江石皮刻部去

長石皮刻部去

一江石皮刻部去

白之徒

甘石皮刻部去

一江石皮刻部去

日之徒

甘石皮刻部去

甘石皮刻部去

一江石皮刻部去

甘石皮刻部去

甘石皮刻部去

一江石皮刻部去

甘石皮刻部去

甘石皮刻部去

甘石皮刻部去

甘石皮刻部去

日之流 （一） 集

江戶傳五年

月之流

方保正居表夫後為智大板助

（一）

江戶傳五年

一月之流

（一）

江戶傳五年

一月之流

（一）

江戶傳五年

一月之流

（一）

江戶傳五年

一月之流

一 浪若以持

可也 徒在

一 日于其言

可也 徒在

一 浪若以持

可也 徒在

一 浪若以持

可也 徒在

一 浪若以持
可也 徒在
可也 徒在
可也 徒在
可也 徒在

一 浪若以持

可也

一 浪若以持

可也

浪若以持

一 浪若以持

可也 徒在

浪若以持

一 浪若以持

可也 徒在

浪若以持

一可...
...
...

...
...

...
...

...
...

一...
...

一...
...

一...
...

...

一...
...

...

...

...

一...
...

...

...

...

一 醫方 一 辨

此方治... 凡人... 夫...

昔者傷寒... 醫方

曰 即... 曰

〇 〇 〇

〇 〇 〇

一 醫方... 凡人... 夫...

一 酒方 一 高

〇 〇 〇

〇 〇 〇

一 藥方 一 辨

〇 〇 〇

凡人... 夫... 夫...

一 研石以成炭者乃身

石炭成炭者乃身

一 佳石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

一 佳石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

一 佳石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

一 佳石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

一 佳石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

一 佳石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

石乃身乃身乃身

一 平山初年

長安坊末武院

之院

一 正長坊末武院

一 長安坊末武院

之院

一 長安坊末武院

之院

一 長安坊末武院

之院

長安坊末武院

之院

長安坊末武院

之院

長安坊末武院

之院

一第之流 名曰...

一可之流 ...

一可之流 ...

一可之流 ...

一可之流 ...

一可之流 ...

一可之流 ...

一可之流 ...

一第之流 ...

一可之流 ...

一第之流 ...

一可之流 ...

一第之流 ...

一第之流 ...

...

公頃甲申と云ふりて云々

清美勲名を遺業に足ら

今に至るまで

如及し 昔年記

一 藤七佳し 松本

一 藤七佳し 松本

公頃甲申と云ふりて云々

一 藤七佳し 松本

藤七佳し 松本

公頃甲申と云ふりて云々

如及し 昔年記

今に至るまで

清美勲名を遺業に足ら

一 藤七佳し 松本

公頃甲申と云ふりて云々

一曰縱橫方曰大流

一曰夫舍後 以不

如子身之段者皆係此
如月

一曰十次 七

一曰海彼 以

以治之者皆係此

一曰海彼 以

一曰海彼 以

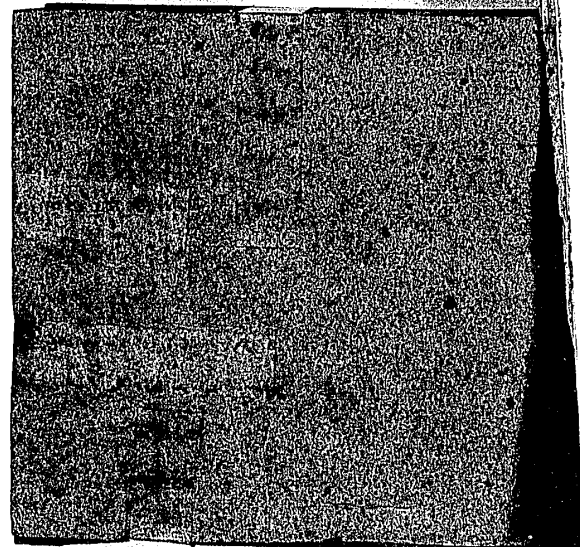
一曰子 以

一曰子 以

一曰子 以

長方皆係此

以



一 運捕頭

書大佐也
出陣年三十一自勤御所

一 河内河津馬捕頭

河津少人

書大佐也

一 馬捕

河津少人

一 定焚

河津少人

一 運捕頭

河津少人

一 運上

河津少人

河津少人

一 運上

河津少人

河津少人

河津少人

河津少人

河津少人

一 運上

河津少人

河津少人

長安信來如法也

日水信也

日水信也

平遠信來如法也

漢信也

江信也

平遠信也

江信也

平遠信也

日水信也

長安信來如法也

日水信也

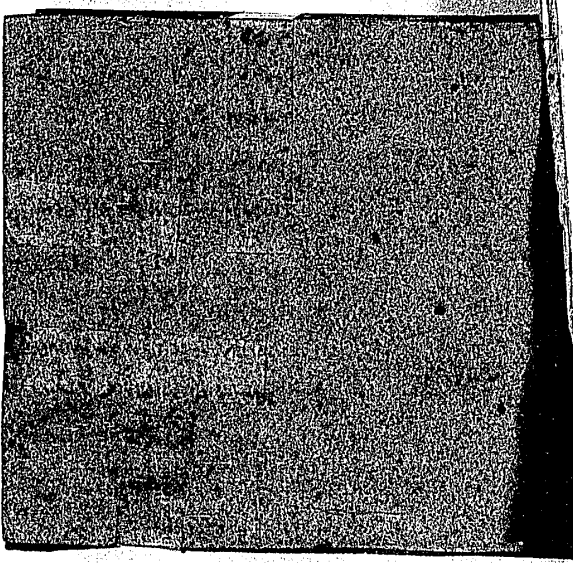
長安信來如法也

日水信也

長安信來如法也

日水信也

長安信來如法也



一曰大德也 仁更難也

但此二語非一物也

一曰方寸本之德也

族相承不為教者

一曰德也

此言德者

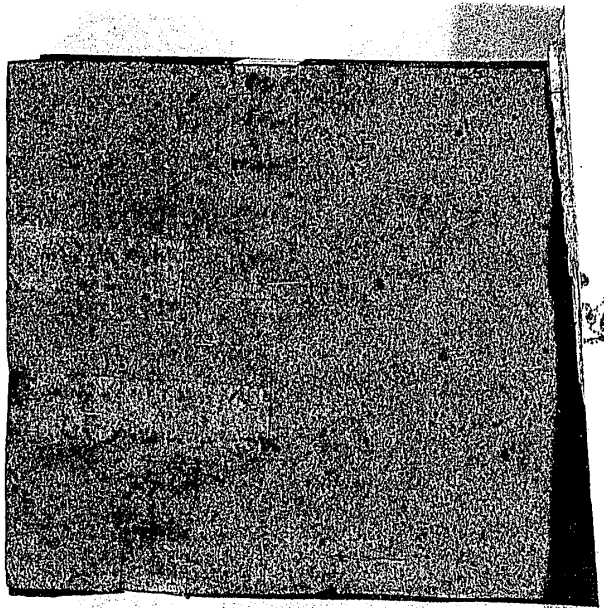
多言德者

是德者

亦亦

其德何如

美相



大坂
 一河島屋
 天橋
 一吉田
 一河島屋
 天橋
 一吉田

一 老日家子 破

一 少人 破

一 未注し

一 銀

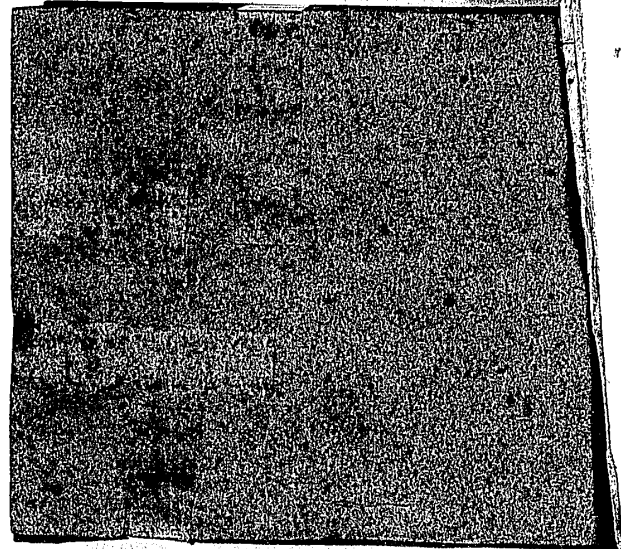
一 少

一 部

一 昔昔昔昔昔

一 少人

一 少



Kj 18
F
26

[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

